

江戸の悪

2015年6月2日(火)～6月26日(金)

(6月8、15、22日は休館致します。)

太田記念美術館

階	絵師名	画題	年代
1階	三代歌川豊国(国貞)	「東海道四谷怪談」	文久元年(1861)7月
	三代歌川豊国(国貞)	近世水滸伝 夏日子僧新助 岩井桑三郎	文久元年(1861)7月
	三代歌川豊国(国貞)	近世水滸伝 競力富五郎 中村芝翫	文久元年(1861)6月
	月岡芳年	英名二十八衆句 福岡貢	慶応3年(1867)4月
	豊原国周	東都不二勇気の肌	元治元年(1864)11月
	月岡芳年	本朝義盗譚	慶応元年(1865)3月
	歌川広重	青野ヶ原二熊坂手下ヲ集ム	文政初期(1818～20)頃
	月岡芳年	芳年武者死類 源牛若丸 熊坂長範	明治16年(1883)12月
	歌川国芳	小倉擬百人一首 法性寺入道 前関白大政大臣 袴垂保輔	弘化3年(1846)頃
	三代歌川豊国(国貞)	東海道五十三次之内 京 石川五右衛門 東海道五十三次之内 京二 真柴久吉	嘉永5年(1852)6月
	歌川国芳	「木下管我患隠路」 (個人蔵)	嘉永4年(1851)正月中村座
	安達吟光	講談一席誦切 松林亭伯園 鼠小僧次郎吉 尾上菊五郎	明治7年(1874)10月
	月岡芳年	英名二十八衆句 因果小僧六之助	慶応2年(1866)12月
	月岡芳年	東錦浮世稿談 神田伯勇 幡随院長兵衛	慶応3年(1867)10月
	豊原国周	小全三升五人俤	慶応2年(1866)8月
	三代歌川豊国(国貞)	梨園侠客伝 御所の五郎蔵	元治元年(1864)4月
	三代歌川豊国(国貞)	梨園侠客伝 朝比奈藤兵衛	文久3年(1863)6月
	三代歌川豊国(国貞)	梨園侠客伝 喧嘩屋五郎吉	文久3年(1863)6月
	三代歌川豊国(国貞)	梨園侠客伝 髭のあきう	文久3年(1863)7月
	三代歌川豊国(国貞)	梨園侠客伝 花川戸すけ六	文久3年(1863)8月
三代歌川豊国(国貞)	近世水滸伝 笠川鬚造 中村福助	文久元年(1861)7月	
三代歌川豊国(国貞)	近世水滸伝 清瀧の佐七 市村羽左衛門	文久2年(1862)7月	
歌川芳幾	英名二十八衆句 国澤周治	慶応3年(1867)5月	
2階	歌川国芳	小倉擬百人一首 相模 おきく 京極内匠	弘化3年(1843)頃
	三代歌川豊国(国貞)	東海道五拾三次之内 赤坂 沢井又五郎 東海道五十三次之内 赤坂 沢井助平	嘉永5年(1852)8月
	歌川豊国	斧定九郎 松本幸四郎	文化3年(1806)4月
	溪斎英泉	仮名手本忠臣蔵 五段目	天保前期(1830～36)頃
	歌川芳幾	英名二十八衆句 邑井長庵	慶応3年(1863)6月
	豊原国周	入鹿大臣 大谷友右衛門	明治2年(1869)9月
	歌川豊国	「菅原伝授手習鑑」(車引)	寛政8年(1796)7月
	三代歌川豊国(国貞)	藤原時平 嵐難助 眠獅	文久3年(1863)7月
	月岡芳年	平清盛炎焼病之図	明治16年(1883)8月
	歌川豊宜	新撰太閤記 此人にして此病あり	明治16年(1883)6月
	豊原国周	「魁花岩尾伊達染」	慶応2年(1866)4月
	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 初段	文化3年(1806)4月
	歌川広重	忠臣蔵 夜打三 本望	天保前期(1830～36)頃
	歌川国芳	「東山桜荘子」	嘉永4年(1851)8月
	三代歌川豊国(国貞)	天日坊法策 市川小団次 米升	万延元年(1860)3月
	三代歌川豊国(国貞)	見立三十六句撰 土手のお六 願哲坊	安政3年(1856)11月

三代歌川豊国(国貞)	梨園侠客伝 女伊達 団七じまのおかし	文久3年(1863)7月
豊原国周	異種蕃薇犯妻会 高橋お伝 菊五郎	明治12年(1879)7月
豊原国周	異種蕃薇犯妻会 原田お絹 高助	明治12年(1879)7月
月岡芳年	新撰東錦絵 鬼神於松四郎三郎を害す因	明治19年(1886)3月
歌川芳幾	英名二十八衆句 鬼神於松	慶応3年(1867)6月
月岡芳年	英名二十八衆句 姐妃の於百	慶応2年(1866)12月
歌川国芳	浅茅原一ツ家之因	安政2年(1855)2月
豊原国周	「皿屋舗化粧姿鏡」	明治25年(1892)10月
歌川国芳	木曾街道六十九次之内 鶴沼 与右エ門 女房累	嘉永5年(1852)7月
月岡芳年	東錦浮世稿談 瀟声舎千山 向疵与三 蝙蝠安	慶応3年(1867)9月
月岡芳年	和漢百物語 清姫	慶応元年(1865)9月
三代歌川豊国(国貞)	東都轟頂競 二 清玄桜姫	安政5年(1858)4月
月岡芳年	新形三十六怪撰 清玄の霊 桜姫を慕ふ乃因	明治22年(1889)5月
三代歌川豊国(国貞)	見立三十六句選 八百屋於七	安政3年(1856)11月
歌川国芳	「恋模様振袖妹背」	嘉永4年(1851)5月
三代歌川豊国(国貞)	梨園侠客伝 団七九郎兵衛 かわら崎権十郎	文久3年(1863)6月
歌川芳幾	英名二十八衆句 佐野治郎左衛門	慶応3年(1867)4月
月岡芳年	英名二十八衆句 古手屋八郎兵衛	慶応3年(1867)4月
歌川豊国	「菅原伝授手習鑑」(寺子屋)	寛政11年(1799)5月
歌川豊国	「義経千本桜」(椎の木)	文政3年(1820)5月
楊洲周延	東絵屋夜競 玉藻前	明治19年(1886)正月
豊原国周	相馬良門古寺之因	安政5年(1858)8月
三代歌川豊国(国貞)	豊国揮毫奇術競 蒙雲国師	文久3年(1863)5月
月岡芳年	鼠の轟頂三幅対	慶応2年(1866)6月
歌川豊国	「仕入染雁金五紋」	文政元年(1818)5月
三代歌川豊国(国貞)	見立三十六句撰 石川五右衛門	安政4年(1857)12月
豊原国周	稲葉幸蔵 中村芝翫	慶応元年(1865)4月
三代歌川豊国(国貞)・ 歌川広重	双筆五十三次 龜山	安政4年(1857)4月
三代歌川豊国(国貞)	見立三十六句撰 法戒坊 甚三女房お梅	安政4年(1857)正月
三代歌川豊国(国貞)	小倉擬百人一首 藤原道信朝臣 太平次 およね	弘化3年(1846)頃
三代歌川豊国(国貞)	小倉擬百人一首 前大僧正慈円 大伴黒主 小町桜壺	弘化3年(1846)頃
楊洲周延	彫画共進会之内 総洲猿島内裡因	明治17年(1884)12月
楊洲周延	彫画共進会之内 盛衰記西八條別館之因	明治17年(1884)12月
月岡芳年	つき百姿 垣間見の月	明治19年(1886)9月
月岡芳年	東錦浮世稿談 旭堂鱗翁 小笹原政尾の局	慶応3年(1867)11月
月岡芳年	新撰東錦絵 白木屋於駒の話	明治19年(1886)3月
楊洲周延	東錦屋夜競 吉田御殿	明治19年(1886)
月岡芳年	月百姿 孤家月	明治23年(1890)8月
歌川芳虎	「御攝蘇我一座魁」	慶応3年(1867)2月
三代歌川豊国(国貞)	踊形容外題づくし 実成金菊月 浅山邸の場	安政4年(1857)正月
歌川国芳	木曾街道六十九次之内 追分 おいは 宅悦	嘉永5年(1852)6月
歌川広重	小倉擬百人一首 藤原基俊 梅川 龜屋忠兵衛 孫右エ門	弘化3年(1846)頃
楊洲周延	幻燈写心競 芝居	明治23年(1890)